

報道関係各位

2026年10月6日

クラダシ、2027年度のゼミ・研究室との共同研究プログラムを開始 ～未来のソーシャルアントレプレナーの育成を目指す～

株式会社クラダシ(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:河村晃平、以下「クラダシ」)は、未来のソーシャルアントレプレナーの育成を目指し、クラダシ基金を活用して大学および大学院のゼミや研究室との共同研究を開始いたします。実施に伴い、共同研究や支援を希望するゼミや研究室を募集いたします。

申込フォーム: <https://forms.gle/UGBKLJp72jeqWk268>

(締め切り:2026年11月23日(月) 23:59まで)

Kuradashi

クラダシはミッションに「善いビジネスで 未来に実りを。」、ビジョンに「日本一のインパクト企業グループへ。」を掲げ、世の中に山積するさまざまな社会課題を価値へと転換し、社会・環境・経済へ確かなインパクトをもたらす事業を展開しています。

その中で、フードロス削減を目指して展開するソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」の運営を通じて得た売り上げの一部でさまざまな社会貢献活動を支援しています。

なかでも、未来の社会を担う次世代への教育を重要領域と位置づけ、自社で創設した「クラダシ基金(※1)」を通じたSDGs特別講座の開設など、主体的な取り組みを推進しております。こうした背景から教育・研究分野への支援を一層強化すべく、大学および大学院のゼミ・研究室への研究支援を開始いたしました。

2024年度・2025年度に実施した共同研究の確かな成果を受け、このたび2027年度プログラムとして本取り組みを継続することが決定いたしました。つきましては、共同研究先として支援を希望するゼミや研究室を募集いたします。

共同研究先として採択されたゼミ・研究室には、研究費用の支援に加えて、クラダシが有するネットワークやリソースへのアクセスをご提供いたします。

※1クラダシ基金とは:

クラダシ自らが社会貢献活動を行うために創設した基金で、「Kuradashi」における支援先の1つです。地方創生事業・フードバンク支援事業・教育事業・食のサステナビリティ研究会の社会貢献活動に充てられています。

【募集概要】

・募集期間:2026年11月23日(月) 23:59まで

・募集フォーム: <https://forms.gle/UGBKLJp72jeqWk268>

【本件に関するお問い合わせ】

広報担当:齋藤 pr@kuradashi.jp

【研究支援内容】

- ・研究費の助成(寄付):最大1,000,000円
- ・クラダシのノウハウ、ネットワーク、データ提供など

【研究対象期間】

- ・2027年4月～2028年3月

【条件】

- ・研究テーマがクラダシのマテリアリティの1つ又は複数に即していること
- ・研究テーマ例
 - ↳資源ロスの削減:フードロス削減、廃棄物リサイクル
 - ↳食と暮らし、地域を支える:子ども食堂、スマート農業 など
 ※上記はあくまで例であり、上記のテーマに限りません。
- ・ゼミ・研究室名での応募であり、研究実施の最終責任者が指導教官であること
- ・寄付金に対して、領収書を発行すること
- ・応募時に資金用途の記載が可能であること、また、何にいくら使用したかの報告を実施すること
- ・2027年9月に中間報告会、2028年2月に最終報告会を実施すること(クラダシオフィス)
- ・上記報告会のタイミングで中間報告書・最終報告書を提出すること

■クラダシのマテリアリティ

クラダシは、持続可能な社会の実現と経営を目指し、5つのマテリアリティを特定しています。(※2)

- ①資源ロスの削減
- ②気候変動への対応
- ③食と暮らし、地域を支える
- ④人材と組織
- ⑤ガバナンスと透明性

テーマ	取り組みの内容・説明	KPI/指標_関連テーマNo.	関連SDGs
①資源ロスの削減	・食品ロスの削減(EC・卸・店舗・物流・商品開発) ・電力ロスの削減(系統用蓄電所・電力小売)	・フードロス削減量/電力ロス削減量 ・パートナー企業数/取扱数量/経済効果	
②気候変動への対応	・回避排出の最大化(食品ロス・電力ロス) ・自社の環境負荷の低減(Scope 1・2の算定)	・CO2削減貢献量 ・CO2排出量/エネルギー使用量	
③食と暮らし、地域を支える	・健康・制限食へのアクセス(冷凍宅配食・Post Chef) ・地域経済への還元とフードバンク/こども食堂への支援	・提供食数/会員数/出品企業数 ・自治体との連携協定件数/クラダシ基金の活動	 
④人材と組織	・多様な人材が活躍しつづけられる環境づくり ↳DE&I・Well-being ・AXの推進 ↳AIを前提とした業務設計、人にしかできない仕事への移行	・一人当たり売上高/AI活用率 ・女性比率/男女間賃金差異/育休取得率/eNPS	 
⑤ガバナンスと透明性	・B Corp基準に沿った運営(新基準 Year 0/3/5) ・情報セキュリティ/食の安全/AI利用のガバナンス	・リスク管理体制/B Corpスコア ・AI利用ガイドラインの整備/算定方法の開示	

※2 Impact Report2026: <https://speakerdeck.com/kuradashi/kura-dashi-impact-report-2026?slide=25>

クラダシは、本共同研究プログラムを通じて、社会課題の解決につながる研究を加速させ、未来のソーシャルアントレプレナーの育成を目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】
広報担当: 齋藤 pr@kuradashi.jp

■楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」とは
Kuradashiは、楽しいお買い物で、みんなトクするソーシャルグッドマーケットです。
フードロス削減を目指し、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう可能性のある食品などを、おトクに販売しています。
さらに、売り上げの一部を環境保護・災害支援などに取り組むさまざまな社会貢献団体への寄付やクラダシ基金として活用し、SDGs17の目標を横断して支援しています。
楽しくておトクなお買い物が、社会に良いことにつながる。そんな、全く新しいソーシャルグッドマーケットを創出しています。
URL: <https://www.kuradashi.jp/>

■クラダシ Impact: 利益を社会に巡らせる
自ら社会貢献活動を行う「クラダシ基金」を通じ、地方創生やフードバンク支援、教育支援など、利益の一部をさまざまな社会課題の解決へ還元していきます。 <https://corp.kuradashi.jp/impact/>

■株式会社クラダシについて
代表者氏名: 河村晃平
設立: 2014年7月
本社所在地: 〒141-0021 東京都品川区上大崎3丁目2-1 目黒センタービル 5F
URL: <https://corp.kuradashi.jp/>

【サービス紹介】

- ・ソーシャルグッドマーケット「Kuradashi」: <https://www.kuradashi.jp/>
- ・クラダシが自社で運営する「クラダシ基金」: <https://www.kuradashi.jp/fund>
- ・冷凍宅配弁当「Dr.つるかめキッチン」: <https://tsurukame-kitchen.com/>
- ・オンライン料理教室「La Table de SHIORI Online」: <https://online.atelier-shiori.com/>
- ・物流代行サービス: <https://logistics-kuradashi.com/>

【店舗一覧】

- ・Kuradashi店舗一覧: <https://kuradashi.jp/pages/stores>

【クラダシのインパクト】

- ・インパクトサイト: <https://corp.kuradashi.jp/impact/>
- ・インパクトレポート: <https://speakerdeck.com/kuradashi/kura-dashi-impact-report-2026>

【2026年6月末時点の主な累計実績】

- ・フードロス削減量: 35,287トン ・経済効果: 171億6,857万円
- ・CO2削減量: 93,545t-CO2 ・支援総額: 194,051,084円

「Kuradashi」、「ソーシャルグッドマーケット」、「1.5次流通」、「もったいないを価値へ」は株式会社クラダシの登録商標です。